

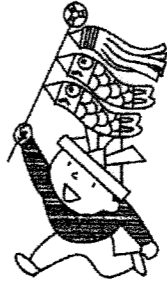
# ふかまちのまど

第二五二号 一五年五月一日  
発行元 深町連合町内会  
連絡先 六三三三八八二

各町内会だより

上・中・下組各町内会  
定期総会開催

四月五日、上・中・下組の各町内会で、定期総会が開催されました。平成二十七年年度の主要行事等は次のとおりです。



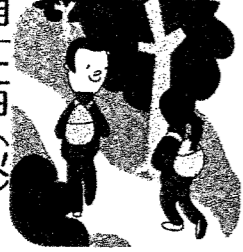
## 平成27年度各町内会主要行事・予算・役員等の概要

項目	上組町内会	中組町内会	下組町内会
主要行事 (実施予定月)	①親睦会 (未定) ②公民館横の除草作業 (6月・2月)	①二十三夜行事(8月) ②親睦旅行 (未定)	①親睦旅行 (6月) ②総仏法要 (1月)
予算 (一般会計総額)	1, 263, 703円	2, 457, 977円	1, 056, 101円
執行部等役員	会長 林 洋祐 副会長 法代地功一 監事 (計) 江口史憲 北迫富士子 柿迫小夜子	会長 平岡博司 副会長 船本栄二 会計事 中串政則 古川明策 重延榮利 会監 重 兼利	会長 迫 博明 副会長 中重真治 会監 河崎龍志 河原喜久 沖西直子

## 歩く会にご参加を

歩く会幹事 石井堂照

深町船板山造林地



月日 五月十二日(火)  
予備日 五月十四日(木)

行程 九時 上組公民館発(車)  
九時三十分 造林地探訪  
十一時三十分 探訪終了・昼食  
十二時 上組帰着(車)

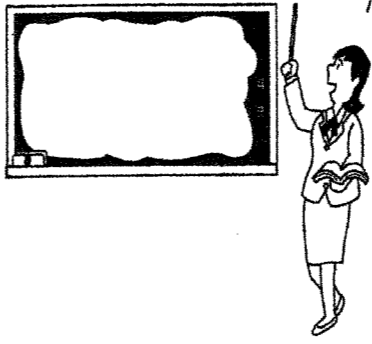
上組公民館発(車)  
探訪終了・昼食  
上組帰着(車)

深小だより  
「チーム深」の一員として

深小学校教頭 平賀 智明

四月より深小学校に着任した教頭の平賀です。

名前からよく男性と間違われませんが、女性です。「ちあき」と読みます。  
深小学校に転勤が決まった日、前任の重田教頭先生から、「とてもいい学校ですよ。」と教えていただき、楽しみにしております。



着任して、その理由がすぐわかりました。美しい環境、素直で明るい子供達、協力的な保護者の方々、そして学校を温かく支えてくださる地域の皆さん、本当に素敵な学校でした。  
この学校にこざせていただいた喜びとともに、深小のよい伝統をつないで、さらに深め、向上させていく責任をひしひしと感じております。

赤羽校長先生は、常々「チーム深で、子供達を成長させていきたいと思います。」と語られています。私も、「チーム深」の一員として、これまで以上の素晴らしい学校になるよう、がんばっていきたくと思います。  
そのためにも、保護者の皆さんや地域の皆さんとしっかりと連携をとっていくことが必要だと考えております。

## ◇お詫びと訂正

先月発行の「ふかまちのまど 第二五二号」で「深小だより」の一部に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- (誤) ◇転出する職員 教頭 繁田 優
- (正) ◇転出する職員 教頭 重田 優

## 第二中学校だより

「響き合う二中っ子」



三原市立第二中学校長 日名貞 秋典

今年、景色も変わって見えます。静寂の中に活気がみられる授業、元気な掛け声が響き渡る部活動。騒然としていた一昨年、不安定でいつまた爆発する心配を抱えていた昨年から想像もできない変化です。これも、地域の皆様をはじめとする二中を応援していただいているすべての皆様のおかげと感謝いたします。

中学生の時期は義務教育最後の三年間です。進学や就職といった進路選択を控え、いよいよ社会に出ていく準備の期間です。そこで、大人が考えておきたいのは一人一人の生徒の二十三年後の姿だと思えます。二十三年後、三十年後にはこんな大人になってほしいから今のこのような力をつける」といった明確な方向性がないと、子供に迎合したり、言いなりになってしまうとして、結局は子供の可能性をつぶしてしまうことになってしまうと思えます。



そこで、本校が今年度、力を入れていくことは、次の二つです。

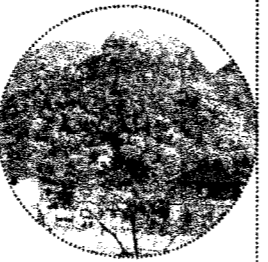
第一に「新四訓の徹底」です。新四訓とは「時間を守る」「挨拶をする」「整理整頓」「身だしなみを整える」です。この四項目は社会に出たときに、ほかの人から愛されるための必須項目だと考えます。

第二に「活気のある学級・部活動」づくりです。社会に出ると、多くの場合、集団の中で自分の力を発揮することが求められます。「嬉しいこと」「悲しいこと」「辛いこと」「楽しいこと」を学級や部活動の中で経験すると思えます。お互いの存在を尊重し、乗り越える力をつけることが、できる集団が「響き合う二中っ子」の姿であると考えます。

## 深町各種団体五月行事予定

- ◆連合町内会 二四日
- ▼町民運動会 二四日
- ◆小学校・幼稚園
- ▼春の遠足 二一日
- ▼放課後子ども教室 二一日
- ▼運動会 二四日
- ▼クラブ活動 二八日
- ◆如水館中学・高校
- ▼市内大会(中学) 九・十日
- ▼中間試験(高校) 十三日
- ▼交通安全教室 十五日
- ▼創立記念式典 十八日
- ▼南部地区大会(中学) 二二日
- 二二・二四日
- ◆町内会新規入会者紹介
- 細谷 誠 様(中組 峠講)
- 石井 智洋 様(下組 三班)

「医王山田屋城主石原氏」について、大阪市在住の寺沢光世(てらさわこうせい)様から四月に史料に基づき、平成二十四年十一月から平成二十五年四月まで「本紙(ふかまちのまど)」に掲載いただきました。誠にありがとうございました。



石原太郎左衛門と天草一揆①  
大坂府立富田林高等学校 講師 寺沢光世

はじめに、寛永一四(一六三七)年冬に起った島原藩主の寺沢兵衛の堅高天草の没収を以て、天草の無嗣絶戸で易殺した。天草の戦高断代浪居して、天草の郡常用に寺沢居して、天草の七頁に「平成一七(一七〇六)年、家老が「記録を遺さなかつた」として、寺沢の「記録」を「探問」したと「略記」した。本稿は「探問」した「略記」を「次号」へ続く。

